



南経観第164号
平成19年5月7日

国土交通省道路局長 殿

南木曾町長 宮川 正光



中期的な計画の作成にあたっての意見について

平成19年4月2日付国道企第114号で依頼のあった標記の件につきまして意見を申し述べます。

記

1、重点化を進める上で特に優先度の高い政策について

1) 防災対策について

① 昨年7月の梅雨前線豪雨の折に、国道19号線が土砂崩落により南木曾町から塩尻市の間が不通、国道19号線の南木曾町読書地籍で落石の危険性が高まりゲートを閉鎖、更に国道361号線も権兵衛峠で土砂崩壊のため不通、辛うじて国道256号線が通行できたものの、孤立寸前の状況でした。

また、人工透析の患者を隣市の病院へ搬送するために、消防車両の先導で、土砂崩落の少なかった主要地方道を大きく迂回し命をつなぐ状況でした。

東海地震等の発生予想が公表され、有事の際には大きな被害が想定されることから、医療機関等を結ぶ緊急輸送道路など、災害に強い道路と代替機能が発揮できる道路ネットワークの構築を強く要望します。

2) 交通安全について

① 国道19号線は、別名「木曾高速」と言われて久しく、一日当たり2万台を超える車両が通行しています。一旦、交通事故が発生すると3～5時間の間通行止めとなり、緊急車両の走行など地域住民の生活への不安と事故に伴ない多額の損失が生じています。

こうした事態の解消を図るために、国道19号線の代替道路として県が進めている木曾川右岸道路は、完成時期や予算の裏づけ等が明確でないため、国と県が調整を図り整備目標を設定していただき早期完成を目指してスピーディな政策展開をしていただくことを強く要望します。

- ② 国道19号線を通過する車両の半数以上は貨物車であり、基幹的な産業用道路としての機能も高く、整備が整った岐阜県内に続く片側2車線化を強く要望します。

3) 観光振興への寄与について

- ① 当町の基幹産業は観光であり、「妻籠宿」をはじめ町内観光地と昼神温泉、飛騨高山方面など広域的な観光地との交流の基盤は、アクセス道路であり、安心・安全に通行できる道路整備を効率的かつ効果的に推進していただきたく要望します。
- ② 国道256号線の清内路峠から漆畑までの間は、道路勾配がきつく急カーブが連続しているので、大型車両が円滑に通行できるよう改良整備を図っていただきたく要望します。
- ③ 国道19号線の読書地区に、道の駅やスノーステーションなどの多面的な機能を備えた観光拠点の整備を要望します。
- ④ 中央道から観光地へのアクセス向上を図るため、神坂サービスエリアにスマートICの整備を望みます。

2、効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- ① 公共交通機関が未整備な地方にあつては、道路整備が住民の最も期待するところであり、事業投資の判断にあたっては、画一的とならないよう地方の実情など、地域の特性やニーズに合わせた規格や構造に配慮し、より多様な便益要素を評価対象に取り入れ、スピーディーな事業展開を強く要望します。